発行

長野地本青年委員会

発行責任者:伊藤 大介 編集責任者:石坂 龍

FHOENIX

NEWS

秋

F27-1

長野地本 QRコード

交

キューを行い各班、火おこしに苦戦しながらもウォークラ

メンバーで交流を深めることができました。 夕食はバーベ

にあるイベントに挑戦し普段なかなか会うことのできない

の対談の時間を設け、各青年委員が日ごろの職場や仕事の リーの話題で盛り上がりました。翌日は城倉地本委員長と

悩みについて直接委員長に意見や要望をぶつけ、

より組合

への理解を深めることができました。

の



流 会

ウォー クラリー

を行いました。

各班でそれぞれのポイント

然の家のエリアを使い、

二〇一五年度秋の交流会では伊那の高遠にある青少年自

各ブロックを縦割りし

た班対抗の

国立信州高遠青少年自然の家









地本青年委員同士の仲間と絆が深まりま らぜひ各支部の役員へ皆さんのお声を聞 また、青年委員の皆さんからの「もっとこ や日程等の企画をしている真っ最中で かせてください。 んな交流会をやりたい」などありました だくことにより、さらにたくさんの仲間 今年度は春の交流会を控え、イベント 大勢の青年委員の方に参加していた

を増やし絆の輪を広げていきましょう。 交流会では普段なかなか会えない

負 لح 抱 の

didc

まで交流会などを計画して

こういった経験をして今

下さった先輩方の大変さが

もいませんでした。

らには責任を持ってやりた わかりました。 私もやるか

中

友 希



な企画を考えていけるよう

てみんなが盛り上がるよう

ので、 が 南信ブロック長をやらせて たり、まとめる事をした事 いただく事になりました。 これを機にブロック長とし 今までは企画内容を考え ありませんでした。 な

今年から青年委員会の中

木曽福島 分会

田 代 大輝

信ブロック長を務めていま私は昨年から青年部の中

今までは交流会など参加者

が、自分が計画、運営して

として参加していました

いく立場になるとは思って

青年委員会活動記録

今 後

の 活

動

ブ 長 ク П ツ